

刑 法

解答上の注意

1. 問題文は1枚、解答用紙は2枚（各問について1枚）、下書き用紙は1枚です。
2. 解答用紙には、一橋大学の受験番号を記入し、氏名は記入しないでください。
3. 解答用紙は、第1問用と、第2問用とが異なります。それぞれ正しい用紙に解答してください。
4. 解答は横書きにして、1問につき1枚の解答用紙に収めてください。解答用紙の追加、交換はしません。
5. 問題の内容についての質問には、応じません。
6. 貸与した六法に、書き込みをしてはいけません。
7. 試験終了後、問題文と下書き用紙は、持ち帰ってください。

第1問

Xは、街中で友人Yと別れてまもなく、通行人Aの持っていたショルダーバッグをすれ違いざまに奪い取った。AがXを追って来たので、XはAの足を1、2度強く蹴って、その場に転倒させた。そのとき、異変に気づいたYが現場に駆けつけて、とっさに以上の事情を了解し、Xと一緒に、倒れているAの脚部を足蹴にして動けなくした。その後、X・Yは逃走した。Aは、大腿部骨折の大けがを負ったが、それがYの加わった後に生じたものかどうかは、わからない。

この設例におけるX・Yの罪責を論じなさい。

第2問

次の問題について、それぞれ具体的な例をいくつか挙げながら答えなさい。

- 1) 刑法における「保護法益」とは何か、説明しなさい。
- 2) 刑法が定める犯罪類型についてその保護法益を考えることには、どんな意味があるか、論じなさい。